

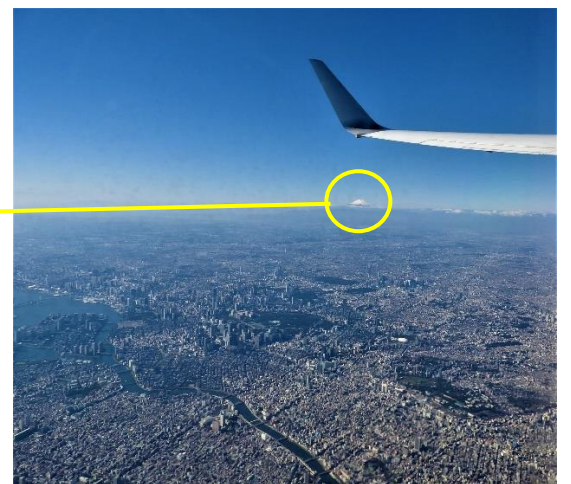


昨年は国内移動であっても何かとハードルが高かった一年でした。今回はその中で数少ない出張で乗った飛行機から撮った写真を紹介します。飛行機に乗る機会があるときできるだけ窓側の席を取ります。海外旅行でもチェックイン時に現地語で「窓側席をください」とお願いする為に、最低でもそれだけは予習していったものです。窓から外を観ることと、写真を撮ることが目的で、旅行後に写真と地図を照合して場所を特定する楽しみもあります。海岸線・湖・川や山等の地形や、林・田畑・道路・鉄道・公園や建築物等から、写真に写っている場所を特定します。昔行ったことのある場所を探すと、自宅や知人の家を見付けたこともあります。雲の合間に少しだけ見える小さな池などから場所が判明した時には、より達成感を味わえます。その為にあえてカメラのGPS機能はOFFにしています。窓側席でも右か左か、翼の上だったり窓が汚れていたり、また機内の映り込みがあったりして、満足な写真が撮れるとは限りません。もちろん天候や時刻（太陽位置）にも左右されます。山のような積乱雲や一面の雲海、そこに自分が乗っている飛行機の影とその周りに円形の虹ができるブロッケン現象や、日の出・日没も撮ったことはありますが、地図好きにはやはり地上が見える写真の方が楽しめます。

冒頭の写真は、**羽田－新千歳便**から撮った東京です。中央のスカイツリーの他、手前の方から、明治通り、京成押上線、東武スカイツリーライン・亀戸線、JR 総武線、亀戸、錦糸町、北十間川、横十間川、猿江恩賜公園、隅田川、桜橋、言問橋、浅草寺、江戸東京博物館(4/1 から改修工事で3年間休館)、上野、不忍池、秋葉原、東京ドーム、池袋、大手町、八重洲、皇居、霞が関、虎ノ門、浜離宮恩賜庭園、東京タワー、国立競技場、上辺に渋谷、明治神宮、新宿等が確認できます。



左は羽田C滑走路34R離陸後に撮ったレインボーブリッジとお台場です。海保の測量船（昭洋HL01か）も見えます。



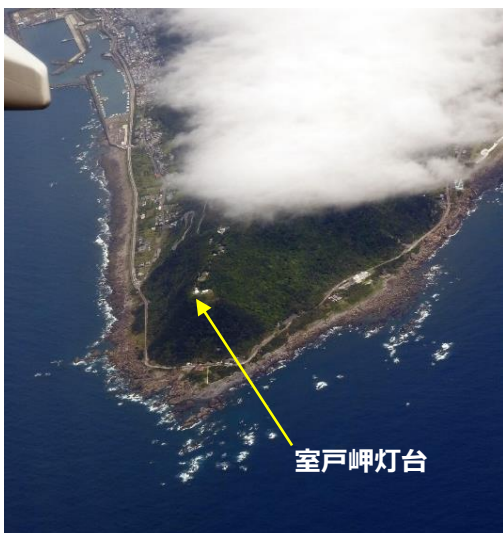
次は、羽田-宮崎便が、羽田D滑走路へ移動中に撮った東京ゲートブリッジです。下はD滑走路 05 から離陸直後の、左から荒川河口、葛西臨海公園、東京デズニールランドで、少し縦に伸ばしています。斜めから見ている海岸線等の変化が拡大されて、分かり易くなります。





今回の出張は、全て道草ギャラリーその 50 で紹介した CLT 建築物の中の幾つかの取材に出掛けたものです。宮崎は左の宮崎県防災庁舎が目的でしたが、運良く東風で飛行機が滑走路 09 へ着陸の為に宮崎市街を左旋回し、訪問する建物を機上からも撮影できました。離着陸時に全ての電子機器使用禁止でフィルムカメラしか使えない時代もありました。

次の下左は、**羽田 - 高知便**が羽田 D 滑走路 05 を離陸滑走中で、アクアライン風の塔と、左端遠景に海ほたるとアクアブリッジが写っています。下は右旋回上昇中に撮った羽田空港で、手前が離陸は左 05 から右に向かって使われている D 滑走路です。中央が多摩川河口です。



熱海、伊豆山土石流災害 (2021.07.03) の地も確認できました。最後は、**伊丹 - 隠岐便**からの鳥取です。この便の乗客はわずか 6 名でした。